

第 8 回 船橋市交通ビッグデータ見える化協議会 議事概要

○開催日時：令和 5 年 1 月 30 日（月）10：30～12：00

○開催場所：船橋市役所 9 階 第一会議室

○意見交換内容

（1）交通円滑化・交通安全対策の対策進捗と効果検証結果

これまでの協議会で検討を進めてきた交通円滑化・交通安全対策の対策進捗と効果検証結果、を説明した。

意見

- ・シミュレーション結果をみると実態と概ね同じ結果であるため、あてにできると考えられる。対策効果を事前に評価して、対策検討に活用できる。また、区間の平均速度や所要時間の算出にも活用できると良い。
- ・設置予定のランプがどのような効果を狙っているのかとあわせて、これまでに設置したランプが実際にどのような効果をあげているのかデータに示して分かりやすく説明していただくことが必要。基礎となるデータに基づき説明することで認識の共有を進めていただければと思う。

（2）個別対策検討路線の現況整理結果

これまでの協議会で検討を進めてきた個別対策検討路線の現況整理結果を説明した。

意見

- ・県道 8 号の渋滞が激しいが、これまでいくつか対策をしている為、合わせて整理しておくが良い。
- ・県道 8 号は若松交差点に関して円滑化対策の面もあって千葉国道事務所、千葉県警が対策を実施しており、今後も検討されて行くでしょう。また、下り方面については 4 車線から 2 車線に絞られているため、拡幅の見通しがあるのかも含めて検討していくべき。さらに車の回し方について検討すべきであり、右折車が直進・左折車を阻害している交差点の手前で一旦左折し、回り込んで当該交差点を直進通過してもらうなど色々手法はある。
- ・国道 14 号の船橋橋交差点については海老川を渡る橋に交通が集中する為、ボトルネックになりやすい。しかし海老川の前後で信号制御の系統が変わっているのではないかと思う。
- ・国道 357 号の日の出交差点と栄町交差点のどちらが渋滞の先頭かが曖昧であり、研究の調査結果でも渋滞の先頭が行き来している状況である。
信号のサイクル長や車線構成とあわせて検討していただけると、効果が出る余地がある。

（2）船橋市全体の交通状況のモニタリング結果

これまでの協議会にて採用している船橋市全体の交通状況を把握するための指標（旅行速度、交通事故等）に関する数値のモニタリング結果を説明した。

意見

- ・市道のみで考えるのは難しいと思われる。国道・県道とのネットワークや隣接市との道路を考えないと船橋市の市道だけで対策を検討するのは難しいのかなと感じた。的確に評価できるように工夫しなければならないため、全体を俯瞰して見るのも重要だし、個別の対策路線、交差点を見るのも重要だがその際にデータの扱い方を協議会の中で検討していただきたい。
- ・広域的な分析をすることで、渋滞の元がどこにあるのか認識を共有できると良い。隣接市と協調体制が組めると非常に効果的になると思う。
- ・事故の発生状況について相対的に多数起こっていても稀な現象である。安全性に関する状況が変わっていても事故件数は確率的に変動する。対策要因が対策しなくても減少する範囲なのか、対策効果なのかを評価できると良い。
- ・全市道の旅行速度について、速度を上げる円滑化対策があれば、速度を下げる事故対策をしており、道路も幹線道路があれば生活道路もあるので路線毎でみた方が良いと思う。
- ・円滑化対策をした路線は速度が向上している為、他の路線から回ってきている可能性がある。そのためより多くの交通量が同じ速度で走れていると考えられる。交通量の変化と旅行時間の変化を加味することで、交通量は増えているが、旅行速度が下がっていないことを示せる。処理能力が上がっているからであり、交通量が増加したことはプラスとして考えられる。
- ・新たに道路を作るとこれまで生活道路を利用していた交通がそちらに転換されるが、結果として生活道路が安全になったともいえ、移動性と安全性の視点で評価できると考えている。

○今後の予定

- ・第9回見える化協議会について次年度令和5年度に入ってから開催を予定している。協議会の開催時期が決まり次第、改めて連絡する。

【実施風景】

